

伊居太神社

格調高い神門を潜ると、凛とした空気が清々しい境内が現れる。五月山の麓に佇み、古くから地域に親しまれてきた神社の今昔を尋ねた。



機織・裁縫技術を

日本に広めた織姫を祀る

池田市に現存する神社で最古とされる「伊居太神社」。正式名称は「穴織宮（あやはぐう）伊居太神社」とい、穴織大明神、応神天皇、仁徳天皇が祀られている。その歴史は古く、1600年以上前に遡る。「成り立ち」は諸説いろいろありますが、同神社に伝わる「織姫伝説」として残る由緒をお話ししますと、宮司の河村たかひこさんが語ってくれた。

時は応神天皇の頃、日本に機織・裁縫技術を広めるために、中国の呉の国から渡来した4人の機織姫のう

ちの一人、穴織（あやは）は。穴織はこの地で機織と裁縫の生産・教育に励む。そして仁徳天皇76年（西暦389年）に亡くなり、その功績を称えて翌年、穴織を祀る神社が建てられる。それが現在の「伊居太神社」となる。その後、応神天皇と仁徳天皇も合祀されて産業、文化、学芸、武術の神として崇拝されることとなる。穴織の姉とされる呉服（くれは）は、池田市室町の「呉服神社」に祀られており、伊居太神社が「上の宮」、呉服神社は「下の宮」とも呼ばれる。また、先代から伝え聞く話によると、穴織は庶民が着る衣服を、呉服は高級な着物を作っていたとも言われているそうだ。

安土桃山文化の面影を色濃く残す、隠れた名所

高い木々に覆われ、歴史を感じさせる石段を上り、神門から一歩中に足を踏み入れると、神秘的な雰囲気包まれた境内が目前に広がる。

『伊居太神社』は一度、織田信長によって焼かれたとの記録があり、現在の社殿は慶長9年（1604年）に豊臣秀頼により、再建されたものだ。ほとんど変わらずその姿を維持してきた同社は、今もなお、安土桃山文化の面影を色濃く残す。真ん中に穴織大明神、向かって右に応神天皇、左に仁徳天皇を祀る奥の本殿は、「千鳥唐破風三棟寄造（ちどりからはふみむねよせづくり）」という全国でも例のない珍しい構造で、屋根

を昭和41年に檜皮葺（ひわだぶき）から現在の銅板葺に修繕した程度だ。建物の装飾品にしても、籠彫（かごぼり）といわれる、当時の精巧な彫り物が残る。神門の屋根には、豊臣家と関係の深いひょうたんの飾りがあり、応神、仁徳の両天皇を祀っていることから皇族に関わりある菊の紋も随所に見られる。その景観は、ドラマや映画の撮影に使われるほどの趣がある。

神社内では、源頼光が植えたといわれる「頼光松（らいこうまつ）」や、穴織の墳墓「姫室（ひめむろ）」などの古跡のほか、織姫を呉の国から連れてきたとされる阿知使主（あちのおみ）と、その息子の都加使主（つかのおみ）を祀る「稲名津彦（いななつひこ）社」など、計7つの境内社がある。これらを目に留めながら参拝するのも興味深い。

地域の安泰・発展を祈りこの地を守り続ける

『伊居太神社』の氏地は、新町、西本町、本町、建石町、城山町、上池田、城南東、城南西、綾羽二丁目、綾羽三丁目、大和町、五月丘になる。最近では「伊居太神社」を知ってもらおうと「新町通り商店会」の主催で「いけだまつり」が神社内

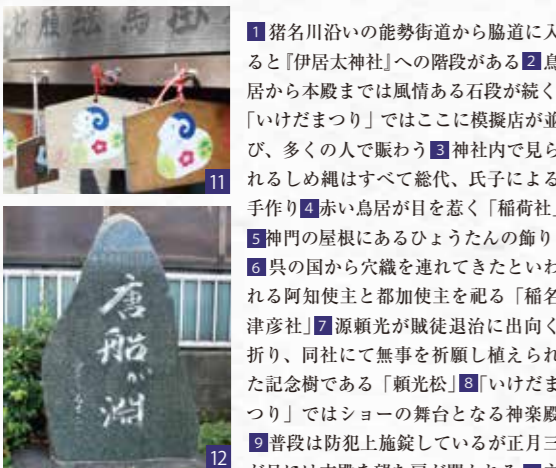


82代目宮司 河村たかひこさん
「当社は五月山の自然に囲まれ、四季折々の景色も綺麗なで、それらを目にするのもお勧めです」

で開催されている。神社の神楽殿が舞台となり、池田の今昔を感じる内容を楽しむことができる。

「当社は氏神として、氏子さん、あるいは崇敬者の方の家族や家の安泰を日々祈念しています。地域の発展も含めて神様にお願ひする、これが宮司の役目であると考えています」と河村さん。同時に「参拝する方には信仰心を持って、鳥居・神門の前で一礼、手水舎で口や手を清めて、二礼二拍手一拜でお詣りする、という基本は大切にしてほしい」とも。
新年を迎える「除夜祭」と「歳旦祭」には大晦日22時半から翌1時半ごろにかけて雑煮と樽酒が振る舞われ、正月三日には授与品の頒布もなされる。日々への感謝と新年への願いを胸に、詣でてみてはいかがだろうか。

お詣りの際に見てみよう



1 猪名川沿いの能勢街道から脇道に入ると『伊居太神社』への階段がある 2 鳥居から本殿までは風情ある石段が続く。「いけだまつり」ではここに模擬店が並び、多くの人で賑わう 3 神社内で見られるしめ縄はすべて総代、氏子による手作り 4 赤い鳥居が目惹く「稲荷社」 5 神門の屋根にあるひょうたんの飾り 6 呉の国から穴織を連れてきたといわれる阿知使主と都加使主を祀る「稲名津彦社」 7 源頼光が賊徒退治に出向く折、同社にて無事を祈願し植えられた記念樹である「頼光松」 8 「いけだまつり」ではショーの舞台となる神楽殿 9 普段は防犯上施錠しているが正月三日には本殿を望む扉が開かれる 10 主に関西地区でよく見られる難波犬は尾が扇形で、丸く愛らしい顔をしている 11 正月三日には2016年の干支「申」を頒布 12 織姫を乗せた船が着いたとされる「唐船が淵」は猪名川の中橋付近にある

こちらの絵馬は
通年ご用意
しています

いけだ伊居太神社

住所：大阪府池田市綾羽 2-4-5
電話：072-751-4652